

さかみち



大船渡高等学校PTA会報 第94号 平成30年2月28日発行

特集 旅立ち～卒業に寄せて～…2～3

PTA 会長 金子 正勝「未来を切り拓け！」……4

校長 高橋 正紀「いいね♡」……5

各種委員会活動報告……4～5

大船渡学とは……6

全国高P連静岡大会 参加報告……6

大船渡高校演劇部創立以来 初の快挙!!

東北大会出場おめでとう……7

修学旅行……8～9

部・同好会 活動実績……10～11

卒業生からのメッセージ……12

昭和61年卒 小松泰喜さん

編集後記……12



ビブリオバトル



吹奏楽部サマーコンサート



授業風景



大高祭 模擬店



大高祭 クラバト



ボランティア活動

【表紙写真について】

白銀に包まれた大高は、今年の冬の厳しさと、凜としたその風貌がこの写真から感じられる。しかしながら、外の様子とは対照的で、校舎内は職員と生徒の対話から日々新たな発見が生まれている。

さて、大高生、そして受験生諸君よ。この春、いざ芽吹かん。咲かせて見せよ一輪の花^{ゆめ}

感謝

3年1組 女子の母

骨折、靭帯断裂、肉離れ、捻挫と脚の怪我に泣かされた高校生活でした。手術、リハビリの為に3週間も入院生活を余儀なくされ、学業から遅れをとる不安を感じていた娘を励まし普通に歩行できるまで手を貸し支え続けてくれた周囲の友人達に本当に感謝しています。また、先生方が励まし丁寧に指導して下さいたお陰で希望する大学への進学も果たすことができました。本当にありがとうございました。夢のスタート地点に立つ事が出来たのは周囲の人々の支えがあったからだと言う事を忘れずに春からの生活を送って欲しいと思います。

感謝

3年2組 女子の母

高校生活の3年間はあっという間に過ぎたように思いますが。辛い時、悲しい時、悔しかった時、楽しかった時いつも友達が隣にいてくれて支えてくれました。素晴らしい友達との出会いだっと思います。この出会いに感謝し、夢に向かって頑張ってください。ご指導いただいた先生方、大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

文武一道

3年2組 男子の母

高校説明会で大高の先生が「大高は勉強も部活も両立する文武一道の高校です。」その言葉に惹かれ、息子は大高に入学しました。野球も勉強も朝早くから夜遅くまで一生懸命両立して頑張りました。一緒に泣いて笑って戦った良い仲間にも恵まれ、親まで大切な方々に出会い楽しませていただきました。お蔭様で小学校から高校まで休まず通った自慢の息子です。

文武一道で育てて頂いた精神力、忍耐力、粘り強さそして大切な仲間はお前の財産だ！ 頑張れ！

監督、先生方、ありがとうございました。

巣立ちの時

3年1組 女子の母

大高で過ごした思い出を胸に、親元を離れて新しい世界へと歩いていく我が子。心配は尽きませんが、感謝の気持ちを忘れずに、自分が決めた道へと一歩ずつ確実に歩み進め、夢を叶えて下さい。これからも家族みんなで応援しています。最後になりましたが、3年間ご指導して下さった先生方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

ありがとう

3年1組 男子の母

高校の合格発表当日、息子からの連絡を待たずに見に行きました。「しまった。受験番号聞いてなかった！！」あれからもう3年たつんですね。勉強に部活と忙しい毎日ながらもクラスマッチや文化祭など行事ごとに燃えてる？我が子を見てるとこちらも楽しくなってきました。ゆかいな仲間達とゆかいな3年間を過ごせて良かったね。そして3年間、見守り、ご指導して下さいた先生方、本当にありがとうございました。

感謝

3年3組 女子の母

あっという間の3年間でした。楽しい事、辛い事たくさんあったと思います。そんなときに喜びを分かち合った人達、支えてくれた人達に感謝の気持ちを忘れず大学へ行っても頑張ってください。

旅立 ～卒業に

大高で良かった！

3年2組 男子の母

息子は、1年生の時から「僕は、大高で良かったよ、でなければこんなに勉強に目覚めてなかったもの」と話していました。親としてはもう少し有利に楽に進学できる高校と思っていました。が、3年間、部活に勉強に励みつつ、ついに夢の扉まで辿り着きました。これも指導して下さいた先生方のおかげと、今は私も思います。「大高で良かった！」と。

旅立ち

3年3組 男子の母

あっという間の3年間。いい友達、先生に恵まれ部活も続けてがんばれました。勉強の方は高総体が終わってからやっとエンジンがかかったようですが、なんとかがんばりました。これから出発です。家から離れると寂しくなりますが、いつまでも応援していきます。頑張れ！！

3年4組 女子の父

♪できるまで 何度も飛ぼうとした翼をなくしてないか？つまらないことで壁にぶつかりためいきをついてないか？届くまで腕を伸ばしてみた太陽は見えているか？やりたいことがわかっているのにはじめてないんじゃないか？乾きを感じた 唇になくしちゃいけない 叫びがある Oh Take A Chance つかむしかない自分のすべてわかるまで ころを燃やした夢はいつまでも終わらない…

「あきらめるなよ。ポロポロになるまでやってみろよ。本当に、本当にどうにもならなくなったら帰ってほしいよ。」大きくなったな、卒業おめでとう。そして、いってらっしゃい。

3年4組 男子の保護者

3年通った大高坂はどんな坂道でしたか。テストへの不安、友との語り、全国を目指して部活での走り込み…、喜びも苦しみもすべて大高坂は、見ていました。これからもさまざまな坂道があなたを待っています。でも「あなたならきっと大丈夫。」大高坂との3年間は、血となり、肉となり、これからの人生の糧となるはずだから。支えられていることに感謝しながら夢を目指して走り続けた3年間。全力で挑み続けるあなたの姿は、家族の誇りです。さあ。次の坂道を登りに行こう。どんなに険しくてもあきらめずに、坂の上から新しい景色を見てやろう。大高坂からいただいた「挑み続ける力」があるのだから。卒業おめでとう。そして大高坂ありがとう。

立ち 寄せて～

ありがとうございました

3年3組 男子の母

息子も親も部活中心の毎日でした。とても楽しませてもらいました。ありがとう。息子は喜びと悔しさを分かちあえる素晴らしい恩師と友人に出会い、私たちも保護者という枠を超えた友人に出会いました。この宝物をこれからも大切に、新しい世界で頑張ってもらいたいと思います。

Independent

3年5組 女子の母

卒業、皆勤賞おめでとう。高校での3年間は、本当に成長したね。「わかってるよー」「大丈夫だよー」と言わずに、今まで、私のヘリペに付き合ってくれてありがとう。4月からは、家を離れ、一人暮らし、もううるさく言えないね…。それでも最後に一言「一期一会」人との繋がりを大切に感謝を忘れず、目標に向かって進んで下さい。ご指導いただいた先生方には、心から感謝致します。ありがとうございました。

支えられること

3年4組 女子の母

人は一人では生きていけない。私はそう思います。この3年間、苦しみながらも最後まで挑戦し続けることができたのも多くの方々の支えがあったからだよね。できないことがあってもいいじゃない。それ以上に、あなたただからできることがあるのだから。頑張れ。私は、あなたを応援している。これからも一緒に頑張ろう。

卒業に寄せて

3年5組 男子の母

部活に勉強にと手を抜かず、何事にも一生懸命やり抜きましたね。がむしゃらにやったからこそ、高校での3年間は人生の中でも必ず生きる糧になってくると思います。今までの学生生活では様々な場面で活躍し、感動を与えてくれました。いつも周りに気を配り、笑顔を与えてくれるところが誇らしく思っています。4月からの大学生活で、自分の進むべき道を見つけさらにがんばって欲しいです。先生方には3年間ご指導頂きありがとうございました。

卒業おめでとう

3年5組 男子の母

ついこの前入学したと思っていたのに、もう卒業なんだね、本当にあっという間でした。最初の考査の時、大丈夫なのか？と親としては不安しかありませんでしたが、3年間、めげずに元気に通ってくれたこと、本当にうれしく思います。きっと、私の想像以上に先生方や友だちの助けがたくさんあったと思います。ありがとうございました。今度は誰かの力になれる人になれるように。がんばれ！！

未来を切り拓け！



PTA 会長 金子 正 勝

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、ご子息、ご息女のご卒業、心からお祝い申し上げます。誠にありがとうございます。

「光陰矢の如し、少年老い易く学成り難し」

今、多くの皆さんが新しい社会の扉を開けようとしています。これまでの多くの皆様からの支えによる人生を振り返りつつ、これからの無限に広がる将来への歩みを考えるにあたり、各々がここで培った「自主独立」の精神をもとに、自分で悩み、考え、選択し、自律し自立していく必要があると思います。インターネットによる「情報」の氾濫、グローバル化が当たり前と感じられるようになった今、これまで以上に社会は目まぐるしく変化を続けていきます。しかし、これから進学する人、社会人として歩み出す人それぞれに、大きな希望と夢が溢れています。そして掴み取るかどうかは、自分次第という事です。みんなが苦労しています。みんなが努力しています。みんなに平等に与えられた限られた「時間」の中、アイデアを絞り出し、本質を見極め、勇気と行動力で逞しく、無限に広がる未来を切り拓いてほしいと思います。そして願わくば「Chance」ではなく「Opportunity」と捉えた成果・結果であることを願っています。

最後に、保護者の皆様におかれましては、貴重なお時間をPTA活動へ割いていただき誠にありがとうございました。お陰さまを持ちまして、滞りなく次年へと引き継ぐことが出来ます。「一将功なりて万骨は枯る」と言いますが、正に多くの皆様の支えにより全う出来た一年であるという事、そしてご縁があり皆様とともに活動できた事に心からの感謝と御礼を申し上げ結びとさせていただきます。3年間ありがとうございました。



研修委員会



研修委員長 濱口 智

今年の研修部の活動は、昨年の川崎フロンターレプロモーション部長天野さん（現東京オリンピック組織委員会）の講演から一転して、初心にかえり研修旅行でした。仙台に出かけ、目に美味しい仙台市立博物館鑑賞と舌に美味しいランチ！どちらも、時間があっという間に過ぎていきました。研修の合間には、参加者の保護者同士や先生方と色々お話できて、とても有意義な旅となりました。来年は、みなさんも、ぜひっ！

健全育成委員会

健全育成委員会 石橋 厚子

例年、10月に4日間、先生方や生活委員会の生徒と一緒に実施している登校時のあいさつ運動。今年度は、大船渡警察署交通課の方も加わり、延べ約60名での活動でした。活動場所も、昇降口前から校門付近へと移動。大高坂の両端に分かれて並び、登校してきた生徒に「おはようございます」の大合唱に面を食らった生徒もいた



ことでしょう。驚きながらも元気な声であいさつを返してくれた生徒。照れくさかったのか、疲れていたのか、ちょこんと頭だけを下げた生徒。反応は十人十色でしたが、今年も子どもたちの可愛さに心がほっこりし、改めて、すべての子どもたちが、伸びやかに、健やかに育って欲しいと思いました。

いいね♡



校長 高橋 正紀

今年度も間もなく終わろうとしています。保護者の皆様のご理解とご協力により、無事203名の卒業生を送り出し、1年を終えることができそうです。心から感謝申し上げます。

さて、「インスタ映え」という言葉が流行しています。人目を惹くような美しい画像（私には写真の方が馴染むので以下写真とします）を撮影してインスタグラムに載せるというのですが、歴史上今ほど写真が身近で、日常的に撮影されたことはないだろうと思うほど、老若男女が写真を楽しんでいます。しかし、「インスタ映え」を競う余り、食べ物の写真を撮った後は、食べないで捨ててしまうこともあるという報道を見たときには、残念を通り越して憤りさえ覚えました。そして、そうまでして「インスタ映え」に走る若者たちが不思議に思えました。

なぜにこうも夢中になって写真をとっているのかというと、「いいね♡」を多くもらいたいがためだという人がいます。なるほど、「いいね♡」が多いということは、大勢の賛同を得たことになるわけですから、自分が認められた気持ちになるのでしょう。この承認がポイントなのです。心理学者に言わせれば、人間には承認欲求があるといえます。その欲求を満たしてくれるのが「いいね♡」なのです。SNS人気の1つの要因はこれかもしれません。

誉めて育てることが大切だとよく言われます。自分がそうできたかどうかは棚に上げて、家庭や学校、地域でもっと承認欲求を満たしてやれば、子どもたちが夢中になって「いいね♡」に振り回されることも、「インスタ映え」が流行語になることもないのかもしれません。

そして、大事なことは、いつまでも他者からの承認に頼るのではなく、自分自身で承認できるように、時には自分で自分を誉めることの大切さも教えていきたいと思っています。

広報委員会



広報委員長 阿部 貴俊

今年度もPTA会報「さかみち」をご覧いただきありがとうございます。皆様に大船渡高校や子ども達の様子を知って頂きたいという思いを込めて、部活動の大会結果、修学旅行の様子、各種委員会活動の紹介及び学校行事などの記事を書かせて頂きました。発行にあたり、原稿にご協力いただいた卒業生の方、PTA会員の皆様及び先生方を始めとした多くの方々のお力添えで無事発行することができました。広報委員会の皆様もお忙しい中、活動に協力していただき、本当にありがとうございました。今後もPTA会報「さかみち」の発行に向けて、委員会の活動にご理解ご協力をお願いします。

母親委員会

母親委員会 平 忍

大船渡高校PTA会員の皆様、日頃より母親委員会の活動にご協力いただき感謝申し上げます。母親委員会の活動はクラスマッチでの「ママショップ」の運営がメインになります。本年度も母親委員の方々・PTA会員の皆様と共に、飲み物・パン・総菜、他にも大判焼き・たこ焼き・カレーパンなど、種類を多くして販売致しました。試合の合間に食べて英気を養い勝利に向かって一致団結し対決している生徒さん方、先生方に圧倒されながら有意義な時間を過ごす事が出来ました。また、11月18日(土)には、高田高校にて、高P連気仙地区母親会員交流会が行われ、母親委員の皆さん・熊谷先生と参加し、他校の母親委員の方々と、和やかに交流してきました。最後に、私の力不足で、色々ご迷惑をおかけしたと思います。申し訳ありませんでした。



しかしながら、母親委員の皆様・PTA会員の皆様・先生方のご協力のおかげで運営できた事に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



大船渡市PRキャラクター
「おおふなトン」

身近な課題に
取り組み生きる力を育む

大船渡学とは

大船渡高校の1・2年生が年間を通して取り組んでいる、大船渡学。その概要は、気仙地区をフィールドとした、課題解決型の学習です。

昨今言われているのは、詰め込み型の学習ではなく、自ら課題を発見し、それを解決するためにはどのようなことをしていけば良いのかを考え、行動し結果を出すというものです。生徒本人が興味のある、気仙地区に点在している課題を題材に、課題解決を提案していきます。保護者の方々におかれましても企業にお勤めの方もいらっしゃるかと思います。今年度も各々の企業や施設、団体等訪問させて頂き、大変お世話になりました。また、生徒が訪問する機会がありましたらご理解と、お力添え頂ければ幸いです。気仙地区一丸となって、生徒の学力向上の一端を担って頂ければと思います。

大船渡学には、専任の講師菊池広人さん（東北学院大学特任准教授）に、年間を通して生徒をみて頂きました。

ほんの一部ですが、生徒が感じている地域の課題と、その発表の様子を写真で振り返ります。



大船渡学 講師 菊池広人さん



漁業の未来を考える

支え合う地域を目指す



商業用稲

先端農業を広める



発表風景 1



発表風景 2



発表風景 3



大船渡学振り返り 1



大船渡学の振り返り 2

第 67 回全国高 P 連静岡大会に参加

静岡県は「有徳の人づくり」をすすめています。

メインテーマ

「有徳の人」づくり

サブテーマ

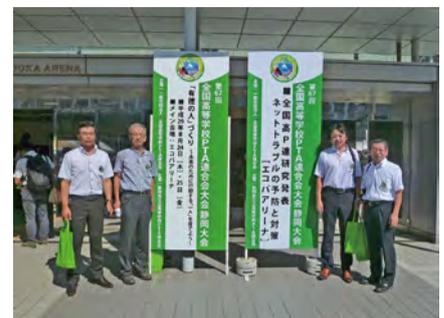
～未来のために行動する
「一人」を育てよう～



開催日：平成29年8月24日(木)、25日(金)

参加者：PTA 会長 金子 正勝
PTA 副会長 遠藤 博幸
校長 高橋 正紀
教諭 山下 純一

平成30年度第68回全国高等学校 PTA 連合会大会は佐賀県で開催！
大会スローガン ～広めよう 高めよう 慈しむ心～
大会日程：平成30年 8月20日～21日





大船渡高校演劇部
創立以来 初の快挙!!

東北大会出場おめでとう

開催日：平成29年12月15日（金）～17日（日）／開催場所：山形市民会館大ホール

「上演作品：ブルーシート」 作者名：飴屋 法水 （潤色）大船渡高校演劇部

ブルーシートがなんで青いのかといえば、空や海が青いからという、ただそれだけの理由なのだそうです。空や海の青に包まれて「それ以前」に還っていった「カノン」と、彼女の記憶とともに大人になっていく高校生の姿を、旧気仙中学校を舞台に描いた作品です。日常の中に「あの日」がある、現在の高校生の思いを伝える作品に仕上がりました。



「憧れの舞台」

1年2組 三浦 叶子
中学生の時から憧れていた演劇部に入部し、憧れていた東北大会に出場でき、本当にうれしかったです。やはり東北になると演技が別格でした。演劇をしつつ、自分らしさも出していくことが大変でした。

「ドドンドンドン」

1年3組 河野 義継
自分たちの舞台をつくる際にたくさんの人に指示を出して、時間内に舞台を完成させるのがとても難しかったです。他の学校の舞台の作りにはとてもたくさんのものがあるのがあって面白かったです。

「演劇が1番」

1年3組 菅野 美月
演劇は昔から好きだった。見るのも演じるのも。でもまさか1年生でこんな大舞台に立つことができるとは思ってもみなかった。震災がテーマの難しい演目。どれが正解なのかが全くわからない中での演技。大変なことはたくさんあったが、でもやっぱり演劇は良いなと改めて感じることができました。

「ブルーシート」

1年4組 植木 彩香
東北大会はとても良い経験になりました。あんなに大きな会場に立ち、大勢の人の前で演劇したのはとても緊張しましたが、練習した成果を發揮できたと思います。今回の「ブルーシート」という作品では、「サヤカ」を演じ、とても難しかったのですが、改めて震災について考えさせられた作品でした。

「東北大会」

1年5組 川島 大和
私は1年生のうちに東北大会に行けたことが嬉しいです。レベルの高い演劇をみることができました。また、装置や照明などの使い方も勉強できました。とても良い経験となりました。来年は私たちが主体となるので、頑張りたいです。

「貴重な経験」

1年5組 砂田 佳穂
今回、東北大会の劇をなまで見るという貴重な

経験をさせていただきました。どの高校からも学ぶことができたと思います。一生忘れられない良い思い出になりました。

「初めて東北大会に行って」

1年5組 三浦 ケイ
初めて東北大会に行って、技術が高く、参考になるところが多い他県の演劇をみることができました。東北大会で学んだことをこれからの部活動に活かしていきたいです。

「ありのまま」

2年2組 新沼 温斗
私達が今回東北大会に参加し、上演した劇は震災を題材にしたものでした。初めての東北大会に、少しの緊張と期待を持って臨み、感じたことは“表現することの素晴らしさ”。自分たちのありのままを伝えることができました。支えていただいた方々に感謝を伝えたいです。ありがとうございました。

「総括」

2年4組 菊地 翔介
とても大きな舞台上で上演できたことが本当に嬉しかったです。私たちが今見ているもの、感じていることを観て下さった方々に伝えられたと思います。様々な方の協力があったからこそ、ここまでくることができたので感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました！

「タイトロープ」

2年3組 坂本 弦
東北大会では全国に進出する学校が決まります。高いレベルの演劇の数々を観劇したことは、自分たちの技術向上に繋がるのと同時に、純粋に面白いものだったという満足感が得られました。それは自分たちの演技にも言える事で、東北大会という初めてで厳しい道のりではありましたが、無事終えることができて嬉しいです。

「東北大会」

3年4組 熊谷 衡
高校生として最後の演劇。大船渡高校演劇部として最後の舞台として、東北大会に出場させて頂いたことを大変誇らしく思います。今後、続く後輩たちにより、演劇部がさらなる成長を迎えることを願っています。

◎キャスト

サヤカ 植木 彩香
ミヅキ 菅野 美月
カノン 砂田 佳穂
カノコ 三浦 叶子
コウ 熊谷 衡
ゲン 坂本 弦
ハルト 新沼 温斗

◎スタッフ

演出 坂本 絃
助演出 菅野 美月
舞台監督 新沼 温斗
照明 菊地 翔介
装置 川島 大和
河野 義継
熊谷 衡
三浦 ケイ
砂田 佳穂
三浦 叶子
植木 彩香

音響 三浦 ケイ
砂田 佳穂
三浦 叶子
植木 彩香
衣装 三浦 叶子
制作 植木 彩香



平成29年度 第2学年 修学旅行報告



11.26 (日) 清水寺

2年3組 菅野 恭平

高校生活の一番のビッグイベントである修学旅行は、清水寺から始まりました。

清水寺まで続く坂道「産寧坂」を見た時は、日本にはまだこんな所があったんだと思ってしまいました。普段近代的な街並みしか見ていなかったため、とても衝撃を受けました。古風な石畳が近代的な灯りに照らされていて、とても趣がありました。坂を上り、清水寺内に入り、清水の舞台へ行った時、またもや衝撃を受けました。あいにく舞台は工事中でしたが、それを忘れるくらい綺麗な紅葉に目を奪われました。見たこともない紅葉でした。子供の私にはまだ全ての魅力は感じることはできなかったけど、一生の思い出となりました。



11.27 (月) 京都自主研修 (1)

2年2組 東川 未来

私たちの班は、本能寺、伏見稲荷大社、金閣寺に行きました。本能寺は、法華宗本門流の大本山で、本能寺の変で知られています。寺院には、恵昇院、蓮承院、定性院、高後院、本行院、源妙院、龍雲院、の7つの塔頭がありました。伏見稲荷大社には、千本鳥居が約1万基あると言われていて、本殿は応仁の乱で焼失した後、1499年に再建されました。赤い鳥居が続く風景が非常に荘厳でした。金閣寺は1994年にユネスコの世界文化遺産に登録されました。どの角度から見ても金色に光っていて、義満時代の繁栄を伺うことができました。

今回の自主研修では、京都の歴史ある建造物を間近で見ることができて、とても良い経験となりました。



京都自主研修 (2)

2年1組 西條 夕映

1日目の疲れが少し残る2日目の朝、たよりがいのない計画表をリュックに入れ、頼みの綱であるスマホを手ににぎり、私達は旅館を出発しました。観光客でいっぱいの伏見稲荷大社を1時間で後にし、時計の針が正午を回る頃まで祇園の商店街を見てまわりました。午後は、三十三間堂で数え切れない程の仏像に圧倒され、豊国神社で猫と戯れ、抹茶館で待ち惚けた末に、揚げたてのチーズコロッケを手に、門限5分前に旅館に帰りました。今回の自主研で感じた事は、スマホの力と地域の方々の優しさです。何度も助けられました。抹茶館で1時間並んでも目的のものにありつけないという珍事もありましたが、初めての事だらけでとても楽しい自主研修でした。



自主研修 (3)

2年5組 鈴木 みゆ

2日目の自主研修では、自分たちでルートを決め、自分たちで電車やバスに乗るといって、あまり経験したことのないことをしました。初めて見るお寺にワクワクしながらお寺を回りました。歴史ある寺社を守り続ける人たちの思いがたくさん伝わってきました。それぞれにそれぞれの仏様がいて、その仏や菩薩に感謝しながらたくさんのお寺を回ることができました。途中にある、その地方独特の物を見ることもできてとても楽しかったです。そして、この自主研修で一番学んだことは、道やバス、電車の乗り方がわからなくても、地元の人や工事のおじさんたちに聞けば大丈夫ということです。たくさんのおかげで、無事楽しい自主研修を終えることができました。



11.28 (火) 薬師寺

2年1組 三浦 悟

私達は3日目に薬師寺を訪れた。そこで30分程、お坊さんのお説法を受けた。お寺で説法なんて絶対数名の意識が飛ぶにちがいないと思っていたが、この予想は覆された。リズム良く笑いを取りながら私達の知らない情報を教えてくださった。

「お陰様」という言葉がある。これはお坊さんが私達に繰り返し話して下さった言葉で、「目に見えない陰から私達を支えてくれている人々」を意味する。バスや新幹線の運転手やホテル、旅館の方々、身近な人だと、先生や両親。私達は数多くのお陰様に支えられて修学旅行へ行けた。お陰様に感謝することは、今回学ぶべきことの一つなのではないだろうか。





奈良公園、東大寺

2年4組 塩口 一

私は奈良公園で印象に残った二つのことに関して書きたいと思います。

一つは誰もが驚く東大寺の大仏の大きさでしょう。教科書でよく見るし、大きさについてもよく知ってはいましたが、改めて昔の人の技術はすごいものだと感じました。東大寺自体も昔はもっと大きいと聞いたときは本当に驚きました。

もう一つは二月堂です。本来の清水寺を見れなかった私たちにとって、それと同じようなものを見れたことは幸いで、何より一目で美しいと感じました。

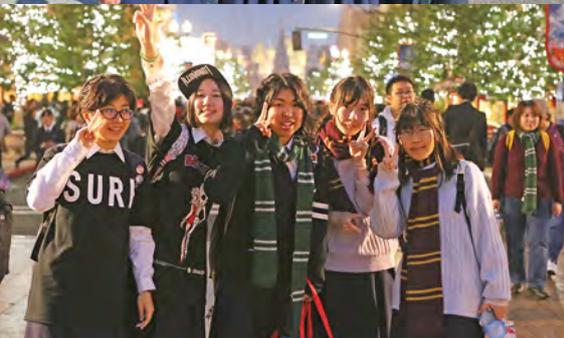
来年行く後輩たちは私たちと同じ感動を味わってもらいたいです。あと鹿煎餅の取扱いは要注意です(笑)



法隆寺

2年5組 尾形 海渡

今回の修学旅行で、私は初めて法隆寺に行きました。正直、最初は塔とか寺とか興味はなかったのですが、いざ行ってみると、その迫力に圧倒されました。それと特に驚いたのは、塔の最も見るべき所、いわば塔のメインです。私は、高さとか、何重になっているのが大切だと思っていました。しかし、お坊さんの話を聞いて、まず、塔が墓だということが最初の驚きで、その墓が、塔の上の柱の根元の部分、ここが塔のメインだというのが、一番驚いたことです。この話をしてくださったのが薬師寺のお坊さんなのですが、「塔自体は墓のサブの部分だが、日本はサブに力を入れすぎた。」という、面白い寺のことなどを知れたので、もう一度行きたいという気持ちになりました。



11.29 (水) US J (1)

2年4組 堀江 里奈子

修学旅行4日目、待ちに待ったユニバーサル・スタジオ・ジャパンでした。(後、ユニバ) その日の朝のエレベーターから降りてくるみんなの顔は心なしか修学旅行の中で一番さわやかで元気な顔でした。

ユニバまではフェリーで移動したのですが、もうその時点でわくわくが止まりませんでした。有名な地球儀のオブジェクトの前でクラスごとの写真を撮り、ユニバの入口ゲートを通ったときはもう感動しました。

平日でしたが人は相変わらず多く、アトラクションの待ち時間は長かったです、それすらもいい思い出です。例年よりもユニバの時間は長いと先生に言われてましたが、それを感じないほど楽しかったです。最高でした。



US J (2)

2年3組 佐藤 知穂

修学旅行4日目。私達は待ちに待ったUS Jに行きました。船を使っでの移動も冷たい風を感じながら、徐々に見えてくるUS Jに心躍らせ楽しく行きました。到着し、入場してからは、それぞれが別行動となりました。私は友達と2人で回りました。待ち時間が長いのが嫌だったので一番最初に私達は、フライングダイナソーへと向かいました。ダイナソーは、適度な怖さで、ずっと笑いながら乗っていました。私は余裕だったのですが、友人は大号泣していました。すごくおもしろかったです。その後も様々なアトラクションに乗り、お土産も購入しました。スヌービーとの撮影も楽しかったです。US Jはとても良い思い出となりました。



11.30 (木) 大阪城公園

2年3組 藤原 竜生

最終日は大阪城公園に行きました。バスから天守閣までは少し距離があったので、最終日なのもあって、みんな少しキツそうでした。天守閣の近くで集合写真を撮ったあと解散となり、自由散策の時間が設けられました。大阪城にはたくさんのハトがいました。解散してすぐハトを追いかける生徒もいてとても微笑ましかったです。僕はクラスメイトと一緒に天守閣に入りました。中には屏風や掛け軸、そして大阪城の様子を模型にしたものなど、興味深いものがたくさん展示されていました。天守閣内の展望台では大阪の街並みを見渡すことができました。城を囲む木も紅葉しており、絶景という感じでした。最終日の大阪城公園、とても楽しかったです。



平成29年度 部・同好会活動実績

●野球部

- 全国高等学校野球選手権岩手大会
2回戦 大船渡 5-3 盛岡北
3回戦 大船渡 2-3 花巻南
- 秋季東北地区高等学校野球岩手県大会
沿岸南地区予選
1回戦 大船渡 3-2 釜石商工
準決勝 大船渡 7-0 住田 (7回コールド)
決勝 大船渡 5-4 釜石
(気仙地区第1代表)
- 秋季東北地区高等学校野球岩手県大会
2回戦 大船渡 0-4 盛岡中央
- いわて国体記念
第1回1年生野球交流岩手県大会沿岸南地区予選
大船渡 10-4 釜石商工
大船渡 3-11 釜石
大船渡 9-2 大船渡東
大船渡 8-3 高田
沿岸地区代表決定戦
大船渡 10-4 宮古 (沿岸地区代表)
- いわて国体記念
第1回1年生野球交流岩手県大会
1回戦 大船渡 3-4 水沢

●バレーボール部 (男子)

- 全日本バレーボール高等学校選手権大会
岩手県予選会
1回戦 大船渡 0-2 花北青雲
- 新人大会県大会
1回戦 大船渡 0-2 種市

●バレーボール部 (女子)

- 全日本バレーボール高等学校選手権大会
岩手県予選会
1回戦 大船渡 2-0 盛岡南
2回戦 大船渡 0-2 一関修紅
- 新人大会県大会
1回戦 大船渡 2-0 花北青雲
2回戦 大船渡 0-2 盛岡第二

●空手道部

- 新人大会県大会
男子個人形 1年 佐々木長政 ベスト8
個人組手 +68kg級 1年 佐々木長政 第1位
(東北選抜出場)
個人組手 +59kg級 1年 志田 裕香 第2位
(東北選抜出場)
個人組手 -68kg級 2年 泉田 祥汰 第3位
男子団体組手 第2位 (東北選抜出場)
女子団体組手 第3位
- 東北高等学校空手道選抜大会
男子個人組手 +68kg級
佐々木長政 0-4 菅原健人 (秋田県・大館国際)
女子個人組手 +59kg級
志田 裕香 0-7 佐藤純華 (宮城県・仙台育英)
男子団体組手 大船渡 0-5 秋田工業

●ソフトボール部

- 岩手県高校女子ソフトボール大会 岩手県大会
1回戦 大船渡 3-9 遠野
- 新人大会県大会
1回戦 大船渡 6-5 盛岡市立
2回戦 大船渡 6-13 花北青雲
- 岩手県高等学校新人選抜大会
大船渡 0-14 千厩
大船渡 0-7 専大北上 ※敗者戦

●ソフトテニス部 (男子)

- 東北高等学校ソフトテニス選手権大会
個人戦 熊谷泰成・道又綾 1回戦 1-4 羽黒
- 新人大会県大会
団体戦 1回戦 大船渡 2-1 大船渡東
2回戦 大船渡 1-2 一関一

個人戦 千葉・道又 2回戦 4-0 盛岡工業
3回戦 0-4 久慈工業
(県選抜インドア大会出場)

- 選抜室内ソフトテニス県大会
個人戦 千葉・道又 1回戦 2-4 宮古工業

●ソフトテニス部 (女子)

- 新人大会県大会
団体戦 1回戦 大船渡 2-1 花巻東
2回戦 大船渡 1-2 盛岡三
個人戦 佐藤・保科 2回戦 4-0 一関二
3回戦 0-4 黒沢尻北
(県選抜インドア大会出場)
- 選抜室内ソフトテニス県大会
個人戦 佐藤・保科 1回戦 0-4 黒沢尻北

●陸上競技部

- 新人大会県大会
男子200m 志田 宙彌 22秒76 (第5位)
女子800m 小松 未夢 2分21秒36
(第3位) (東北大会出場)
- 東北高等学校新人陸上競技選手権大会
女子800m 小松 未夢 2分24秒23
- 全国高等学校駅伝競走大会岩手県予選会
第14位 2時間27分41秒
(平田 新沼 金野 森 熊谷 泉田 吉田)
- 全国高等学校女子駅伝競走大会岩手県予選会
第6位 1時間20分04秒
(阿部 小松 朝倉 臼井 菊地)
- 一関・盛岡間駅伝競走大会
第8位 2時間56分07秒
(吉田 森 金野 新沼 熊谷 平田)

●バドミントン部

- 新人大会県大会
団体戦 男子 大船渡 2-3 西和賀
女子 大船渡 0-3 大東
ダブルス男子
金野・佐々木 (大船渡) 0-2 盛岡市立
シングルス男子
金野 (大船渡) 2-1 盛岡市立
0-2 前沢

●水泳部

- 新人大会県大会
100m自由形 女子 19位 新沼
26位 佐々木
50m自由形 女子 18位 新沼
21位 佐々木
- 2017 スイミングフェスティバル
100m自由形 女子 37位 新沼
50m自由形 女子 57位 新沼

●サッカー部

- 全国高等学校サッカー選手権大会
1回戦 大船渡 6-0 水沢一
2回戦 大船渡 5-0 釜石
3回戦 大船渡 1-5 盛岡中央 (ベスト16)
- 新人大会県大会
2回戦 大船渡 1-0 盛岡第四
3回戦 大船渡 0-7 遠野 (ベスト16)
- 高円宮杯 U18 サッカーリーグ 2017
i.LEAGUE Division2-A
(全14節) 10勝3分1敗 (2位)
入替戦 大船渡 3-2 盛岡北 (1部7位)
(Division1に昇格)

●弓道部 (男子)

- 全国高等学校弓道選抜大会岩手県予選会
男子団体 予選敗退
- 新人大会県大会
男子団体 予選敗退

●弓道部 (女子)

- 全国高等学校弓道選抜大会岩手県予選会
女子団体 予選敗退
- 新人大会県大会
女子団体 予選敗退

●卓球部 (男子)

- 新人大会県大会
団体戦 大船渡 3-1 花巻南
大船渡 0-3 前沢
- 全国高校選抜卓球大会
新沼徹磨 新沼拓豊 佐々木康平 伊藤大矢
(2回戦敗退)
- 川原拓真 小川楽人 (1回戦敗退)

●卓球部 (女子)

- 新人大会県大会
団体戦 大船渡 3-0 盛岡農業
大船渡 0-3 盛岡市立
個人戦ダブルス
新沼・澤田 (大船渡) 1-3 鎌田・堤 (盛岡市立)
菊池・佐々木 (大船渡) 1-3 佐々木・佐藤 (大東)
個人戦シングルス
菊池 夢衣 (大船渡) 1-3 桑島 (専大北上)
澤田ひより (大船渡) 1-3 金澤 (盛岡市立)
新沼 真優 (大船渡) 3-1 阿部 (盛岡市立)
3-2 千葉 (宮古)
0-3 村上 (盛岡第二)
- 岩手県ジュニア卓球選手権大会兼全日本卓球選手権大会
ジュニアの部県2次予選会
新沼 真優 (大船渡) 1-3 古館
(石鳥谷スポーツ少年団)
菊池 夢衣 (大船渡) 3-1 菊池 (盛岡市立)
0-3 佐々木 (一関第二)
佐々木累名 (大船渡) 3-1 小野寺 (一関修紅)
0-3 長岩 (専大北上)

- 全国高校選抜卓球大会
新沼真優 (ベスト16) 菊池夢衣 (ベスト16)
佐々木累名 (ベスト32)
澤田ひより 熊谷愛香 今野心 畑中春薫 遠藤七海
村上陽菜 千葉紅名 (以上7名2回戦敗退)

●バスケットボール部 (男子)

- 新人大会県大会気仙地区予選
大船渡 68-71 大船渡東
大船渡 57-87 高田 (予選通過ならず)

●バスケットボール部 (女子)

- 新人大会県大会
大船渡・大船渡東 50-70 福岡
- 岩手県選抜大会
大船渡 55-48 軽米・葛巻合同チーム
大船渡 39-79 盛岡市立 (ベスト16)

●柔道部

- 1・2年体重別選手権大会
2年60kg級 鈴木新之助 第3位
1年60kg級 宮城 隆宜 1回戦敗退
1年73kg級 上野 貴裕 ベスト8
1年81kg級 齊藤 聡志 1回戦敗退
1年81kg級 石川 蒼磨 2回戦敗退

- 新人大会県大会
男子団体試合 大船渡 4-1 宮古商業
0-5 盛岡南
ベスト16 (選手権大会出場権獲得)
男子個人試合 60kg級 鈴木 ベスト16
宮城 1回戦敗退
73kg級 上野 2回戦敗退
81kg級 石川 2回戦敗退
齊藤 1回戦敗退
上野 3回戦敗退
女子個人試合 63kg級 菊池 ベスト8

- 柔道選手権大会県大会
男子団体試合
大船渡 5人残し ○ 盛岡中央 (1回戦敗退)

●囲碁将棋部

- 岩手県高等学校セミナーサポート事業
「岩手県高校生囲碁講習会兼高校級別囲碁大会」
Dクラス出場 三浦柊登
Eクラス出場 及川颯希

- 岩手県高等学校文化連盟将棋竜王戦
個人戦A級出場 三浦柗登
個人戦B級出場 及川颯希 菅野晃樹
個人戦C級出場
大森聖也 4勝1敗 第4位決定戦で敗戦
(第5位相当)

- 齋藤智仁 安田海 菊池貴大 佐々木義仁
岡崎智明 佐々木和人 山野目尊政

- 第26回岩手県高等学校文化連盟囲碁新人大会
個人戦D級出場 三浦柗登 及川颯希
個人戦F級出場 長谷川響 菊池貴大 武蔵悠雅
男子団体Aリーグ

- 大船渡(三浦柗登・及川颯希・長谷川響)
予選通過 決勝リーグ 0勝3敗(第4位)
男子団体Bリーグ

- 大船渡B1(菊池貴大・武蔵悠雅)

- 第36回岩手県高等学校文化連盟将棋新人大会
個人戦A級出場 三浦柗登
個人戦B級出場

- 安田海 大森聖也 菅野晃樹 及川颯希
菊池貴大 齋藤智仁

- 個人戦C級出場
藤原竜生 武蔵悠雅 岡崎智明 山野目尊政
佐々木義仁 長谷川響

- 男子団体戦A級出場 大船渡A
(三浦柗登・及川颯希・武蔵悠雅)

- 男子団体戦B級出場
大船渡B1(菅野晃樹・藤原竜生・菊池貴大)

- 大船渡B2(岡崎智明・山野目尊政)

- 大船渡B3(齋藤智仁・長谷川響)

- 大船渡B4(大森聖也・安田海・佐々木義仁)

演劇部

- 岩手県南地区高等学校演劇合同発表会
優秀賞 演技賞(3年熊谷衡)

- 岩手県高等学校総合文化祭演劇部門 優秀賞
第1席(東北大会出場)

- 東北地区高等学校演劇発表会 優良賞
最優秀俳優賞(2年新沼温斗)

報道部

- 岩手県高等学校総合文化祭新聞コンクール
タブロイド判・その他の部門
奨励賞 大船渡高校新聞 第98号

- 岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼
岩手県高等学校放送新人大会
アナウンス部門
千葉有紗 佐藤珠愛(予選敗退)

- 朗読部門
川原遥奈 中村村 須藤星香 富澤純子
滝澤志歩(予選敗退)

吹奏楽部



- 全日本吹奏楽コンクール沿岸地区大会
金賞(県大会出場)

- 全日本吹奏楽コンクール岩手県大会 銀賞

- 全日本アンサンブルコンテスト釜石気仙支部大会
フルート四重奏 金賞(県大会出場)

- クラリネット四重奏, 金管八重奏 金賞
打楽器五重奏, サクソフォン五重奏
ホルン三重奏, クラリネット五重奏 銀賞

- 全日本アンサンブルコンテスト岩手県大会
フルート四重奏 金賞(岩手県代表)

- 全日本アンサンブルコンテスト東北大会
フルート四重奏 銀賞

音楽部

- 全日本合唱コンクール岩手県大会 優良賞

書道部

- 岩手日報高校書展
入選 2年 戸田葉那

- 長野県現代書藝展
奨励賞 2年 千葉慧己 佐々木妃佳里
佐藤莉華 川原知恵

- 1年 大坂真心 鈴木泉悠

- 国際高校生選抜書展
入選 3年 三浦 萌
2年 佐々木妃佳里 川原知恵

- 1年 佐藤莉華 千葉慧己 戸田葉那
鈴木泉悠

茶道部

- 岩手南学校茶道交流会
1, 2年茶道部員 19名参加
(胆沢地区勤労者センター)

美術部

- 読書感想画岩手県コンクール高校生部門
(自由図書)

- 最優秀賞 2年 白土 恵
優秀賞 1年 橋本 佳奈

- 優良賞 1年 三浦 あかり
奨励賞 2年 伊藤 里沙子

- 奨励賞 2年 吉田 雪希

- ハートフルエイズデーポスターコンクール
最優秀賞(知事賞) 1年 平山 優
優秀賞 1年 村上 来未

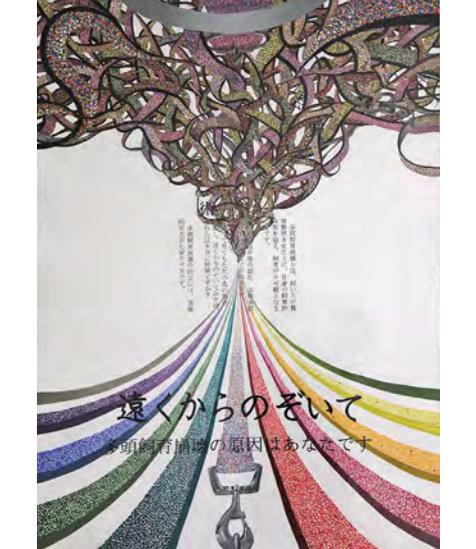
- 優秀賞 1年 佐々木美空

- 岩手県高等学校総合文化祭美術工芸展
【県下高校美術展】
(絵画部門)

- 特賞 2年 吉田 月
入選 2年 村上 瑞季

- 1年 佐々木美空 1年 山下 森人
1年 平山 優 3年 地野みれい 2点
3年 佐藤なる美

- (デザイン部門)
特賞 2年 白土 恵(全国展2018信州大会推薦)



- 特賞 1年 三浦あかり

- 入選 1年 大和田史苑 1年 熊谷 采和
1年 佐々木美空 1年 本田 綾音

- 1年 熊谷 悠花
2年 大和田彩水 2年 村上 瑞季

- 2年 千田真由香
3年 菅野朔太郎 3年 川原みなみ
(立休部門)

- 入選 1年 三浦あかり 1年 山下 森人
3年 菅野朔太郎 3年 佐藤なる美

- 大船渡ビジネスプラン2017ポスター
採用 2年 吉田 月
採用 2年 大和田彩水

JRC同好会

- 岩手県高等学校文化連盟国際理解専門部
JRC委員会高校生大会

- 1年 佐藤海斗 新田佑 2年 佐々木麻依 参加

- 岩手県青少年リーダーシップ・トレーニング・センター
1年 佐藤海斗 新田佑 2年 佐々木麻依 参加

- 岩手県高等学校文化連盟国際理解専門部
JRC委員会活動発表会

- 1年 佐藤海斗 新田佑 2年 佐々木麻依 参加

- 青少年赤十字スタディー・センター参加(予定)
3/22~3/26
1年 新田佑

定時制

卓球部

- 岩手県高等学校定時制通信制秋季大会
男子個人戦 予選リーグ

- 今野翔太郎 0-3 及川(杜陵奥州)
3-0 橋本(杜陵定時)

- 決勝トーナメント
0-3 高瀬(杜陵定時)

- 予選リーグ
上野 滉太 0-3 佐々木(釜石)
1-3 菊池(杜陵奥州)

- 0-3 高瀬(杜陵定時)

- 敗者決勝トーナメント
1-3 橋本(杜陵定時)

- 女子個人戦 予選リーグ
志田 美波 0-3 岩崎(釜石)
3-0 佐藤(杜陵通信)

- 決勝トーナメント
0-3 互野(杜陵奥州)(第3位)

バドミントン部

- 全国高等学校定時制通信制体育大会
バドミントン競技

- 男子団体 1回戦 岩手県2-1茨城県
(ダブルス:久慈長内、第1シングルス:佐藤颯、
第2シングルス:杜陵奥州)

- 2回戦 岩手県1-2愛知県
(2回戦敗退)

- (ダブルス:久慈長内、第1シングルス:杜陵奥州、
第2シングルス:佐藤颯)

- 男子シングルス 佐藤颯 1回戦 2-0 香川県
2回戦 0-2 奈良県

- 定時制・通信制バドミントン新人大会
男子シングルス

- 佐藤 颯 2回戦 2-0 齋藤(一関一)
準決勝 2-0 浅田(釜石)

- 決勝 2-0 上下(久慈長内)
(優勝)

- 長野力也 1回戦 1-2 浅田(釜石)

- 角田英哲 1回戦 1-2 横尾(一関一)

- 女子シングルス
河野理生 1回戦 2-0 岩間(釜石)
準決勝 0-2 小岩(杜陵奥州)

- (ベスト4)

- 塩口愛海 2回戦 2-0 太田原(杜陵定)

- 準決勝 2-1 佐藤(杜陵宮古)

- 決勝 0-2 小岩(杜陵奥州)
(第2位)

陸上競技部

- 全国高等学校定時制通信制体育大会陸上競技大会
男子1500m 長野力也(予選敗退)
女子200m 塩口愛海(準決勝敗退)
女子100mH 塩口愛海(第4位)



卒業生からのメッセージ

「スポーツを通じてよりよい社会を」

小松 泰喜 (昭和61年卒)

理学療法士、アスレティックトレーナー (日本体育協会公認)。

平成 16 年 3 月信州大学大学院工学系研究科博士前期課程修了 19 年同生物機能工学専攻修士後期課程修了 (学術博士)。

18 年より東京大学大学院教育学研究科身体教育学講座特任研究員。22 年東京工科大学医療保健学部理学療法学科教授。

その後、東京大学先端科学技術センター協力研究員などを併任。28 年より日本大学スポーツ科学部教授。

大船渡市盛町生まれ。50 歳。

【人となり】

高校卒業後の私は、一度専門学校で理学療法士の国家資格を取得し、その後大学へ入学しなおし、大学・大学院では、健康にかかわる医療・保健・スポーツ・介護と幅広く学ぶ機会を得ました。中でも運動や生活習慣に興味関心を抱き、それを課題に研究を重ね、学位 (学術) を取得しました。ただ、高校時代に野球部で活動し、先輩たちのおかげもあり昭和 59 (1984) 年のセンバツ・選手権と 2 度甲子園出場を果たした経験はスポーツへの思いを忘れることができませんでした。ですからその間に公益社団法人日本体育協会公認アスレティックトレーナー (AT) の資格も取得しました。

実は、理学療法士として病院に勤務し、普段の診療で多くのアスリートの治療に従事し、ケガや傷害は「予防こそ、治療に勝るものはない」ことに気づきました。陸上女子選手の疲労骨折は難治性で、不登校などもあり、結局部活を辞めざるを得ない苦い経験や、トップアスリートの研ぎ澄まされた競技へのこだわりを垣間みることで、その競技復帰に対する切実な思いなど、その後の自身の目指す方向をより明確にすることにつながったと思っています。



一方、大学教員の礎となったのは多くの方々と研究を介して知り合えたことです。これは何事にもかえがたいと実感しています。ですから研究課題への取り組みは、人の縁 (えにし) があって、良き仲間がいればこそ博士取得ができたと思っています。それが現在ではトレーニング機器の開発や効果に関する継続的な研究につながっています。こういった研究活動も当時は診療の延長線上に考えていましたが、徐々に指導教官である大学院の恩師を見て大学教員への想いを抱くようになりました。

日本大学スポーツ科学部の教授には平成 28 (2016) 年 4 月より着任しました。

【スポーツ科学を専門とする大学教員へ】

こうして大学の教員として教鞭をとるようになりましたが、現在の日本大学スポーツ科学部は、本格的なスポーツ立国の実現をめざす我が国において、「競技水準の向上」が強く求められる一方で、そのために必要な、ハイパフォーマンスを発揮できるアスリートと、その育成に携わる指導者のレベルを上げることが必要とされ、スポーツを理論と実践の両面から学び、総合科学として体系化できる学部の創



設に繋がりました。

大切なミッションは、人材を養成して、競技スポーツを実践する選手とそれを支える一流の指導者やコーチ、さらにはスポーツに関連する幅広い分野で活躍できる人材を社会に送り出すことです。なにより大学の教員であることだけでなく、学生アスリートに対し、普段の体調管理やそのための実践を教え、特にこれからはスポーツ科学の視点でその体調を捉え、競技種目やそのスポーツの特性に合わせたトレーニングなどの方法論や個人の身体状況に合わせたコンディショニングが必要であることから、そのための実践の在り方を伝えています。

【スポーツ科学の発展と金メダル】

大学教員のもう一つの“顔”は研究をすることです。そもそもスポーツ科学とは、学生アスリートに対し、部活のコーチが実践するコーチングとコンディショニングと呼ばれる体調管理は、その境界の判別が難しいと言われていて、場合によってはコーチとの信頼関係が適切でなく、役割の分担が行えないことから、大きな溝を生んでしまうことがあります。スポーツ科学の視点では「相手のニーズを知り、最新の医科学の知識・知見をどのように生かすか」が大切になります。例えば、アメリカンフットボールやラグビーなどのコンタクトスポーツでは、それに伴う筋損傷に対するケアが重要とされ、筋損傷を抑えるには、試合後 48 時間以内に温度 10 ~ 15 度のアイスバスに 5 ~ 15 分間の冷水浴が有効であることから、適切なコーチングとして学生アスリートのコンディショニングに役立てる必要があります。

さらに重要なミッションは、選手のコンディショニングの柱である、普段の生活 (= 社会環境を含む生活リズム) を把握し、主たる役割を健康管理ととらえ活動することだと考えています。高校時代に野球に明け暮れていましたが、練習時間の確保のために、早朝から練習をし、夜遅くまでボールを追いかけていたことを思い出します。当然、授業中は眠くなり、結果として成績は下がらばかりでした (笑)。競技成績も高校 3 年生の選手権予選はあつという間に終わってしまいました。生物には内在する体内時計の存在が知られるようになり、高校時代のような日常を送っている、交感神経と副交感神経のバランスが崩れ、自律神経の変調をきたすことに繋がります。眠気を感じながらの生活では十分な競技成績を残すこともできないでしょう。こうしてわかったことは自分自身の経験も含め、ヒトには生活リズムがあり、世界で活躍する学生アスリートは時差や気候条件にリズムを合わせるため、その調整に余念がないことから理解できます。したがって、時差ボケや不眠の解消のために早めの現地入り、高地トレーニングによってコンディションを整えたりします。個人によっては異なる特性を持っているとされますが、いつの時代も「スポーツばかりしていると…」と揶揄されますが、普段の生活とパフォーマンスや競技成績との関連を知ることが、身体能力や体力の向上よりも金メダルへの近道であるような気がしています。

編集後記

先生方、PTA の皆様のおかげで今年度も無事、発行することができました。広報委員として活動してきた 3 年間、あつという間の 3 年間でした。本当にありがとうございました。【阿部】 この一年、みなさん (委員) とともに活動してきました。とても良い経験となりました。ありがとうございました。【菊地】 PTA 会報の編集に携わることができたこと、とても貴重な経験となりました。会報の編集を通して学校の活動をよく知ることができました。【千葉】 いつも何気なく読んでいた「さかみち」。どのように発行されているのかを知ることができました。貴重な体験でした。一年間ありがとうございました。【斎藤】 3 年間ありがとうございました。先生方や多くの保護者の方々と交流できる機会に恵まれたことに感謝しております。【鈴木】 1 年間ありがとうございました。広報委員会として「さかみち」をじっくり読み、大船渡高校の活動をより深く知る事ができました。【及川】 1 年間ありがとうございました。会報「さかみち」がどのように作られているのか、携わってみて、非常に細やかな仕事だと感じました。是非、じっくり読んで頂きたいと思います。【飛内】

岩手県立大船渡高等学校 PTA 事務局 TEL 0192-26-4441 FAX 0192-26-0792

題字「さかみち」の文字は、元校長 只野弘三先生の直筆を用いております。